



温室効果ガス排出量  
レポート  
【第58期／2024年度】  
2024/9/1～2025/8/31

2026年1月  
中部建設株式会社  
teamSBT

## 第58期の温室効果ガス排出量

当社のScope1は ガソリン、重油、軽油、灯油、  
プロパンガスの使用による排出量です

Scope2は 社屋や現場等の電気使用による排出量です

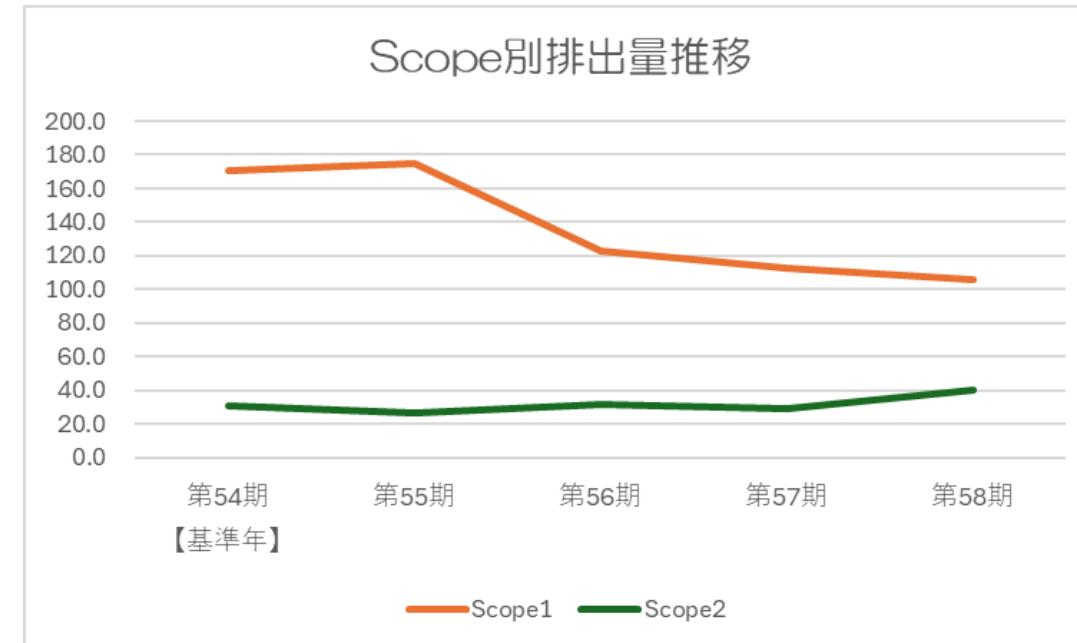
	第54期 【基準年】	第55期	第56期	第57期	第58期
Scope1	171.0	174.9	122.9	112.9	106.1
Scope2	30.9	26.7	31.8	29.4	40.2
合計	201.9	201.6	154.7	142.3	146.3

(t-CO<sub>2</sub>)

中部建設(株) 温室効果ガス排出量推移



Scope別排出量推移



第58期は、Scope1による排出は減少し、Scope2は増加しました。

## 電力消費量増の要因として 考えられること

電力を大きく社屋と現場の2つに分けると、社屋は前期比127%、現場は136%となりました。

- ・社宅として使用している建物の水圧を上げるためポンプを新たに設置したため、その電力消費が増えました。
- ・照明やエアコンの消し忘れによる不要な電力使用がありました。
- ・社員数の増加に伴い、一定量の電力消費増が考えられます。
- ・大きな電力消費を伴う現場がありました。

## 排出量削減に向けた取り組み

	現状の課題	対策
Scope1	・企業活動の活発化と燃料消費の増加が比例する	<ul style="list-style-type: none"><li>・車両ごとに燃費を公表しエコドライブの意識づけを行う</li><li>・バイオ燃料を導入する</li></ul>
Scope2	・消し忘れによる不要な電力消費がある	<ul style="list-style-type: none"><li>・節電の呼びかけ</li><li>・白熱灯をLEDへ交換</li></ul>